

3月校内進路ガイダンス

2018.03.22

全校生を対象に進路ガイダンスを実施しました。最初に全校生で講演を聞きました。今回の講演は「進路トークライブ」と題して、本校卒業生で丹波市に就職した方、丹波市にUターンで戻ってこられた方、Iターンで丹波市に来て仕事をされている方、そして本校の若手教諭の4名をパネリストにして、仕事についてのお話を聞かせていただきました。その後、それぞれの進路希望に分かれての分科会を実施しました。

進路トークライブパネリスト

- 渡辺 顕 氏 (ワタナベカンパニー 代表)
- 進藤裕樹 氏 (御菓子処 正栄堂)
- 足立 健 氏 (東洋電機株式会社 勤務)
- 神崎悠哉 (本校職員)





(生徒の感想)

ガイダンスで話を聞いて、大学を卒業してからのことや仕事のことで、もっと勉強しないといけないと思ったのと、文章の読解力をつけないといけないなと思いました。

丹波市内にもいろいろな就職先がたくさんあって、自分の進路にとっても参考になったと思います。自分が働き始めたときに、たくさんいやなことがあると思うので、あと1年の間で強い精神力をつけたいと思います。就職試験までに自分ができることをたくさんしておきたいです。

パネルディスカッションは聞いていてとても面白かった。さまざまな職業の方の正直な話が聞けて良かった。

トーク形式でとても良いと思った。4人の方は、それぞれしておられることや考え方は違うのに、みんなポジティブに前向きに楽しく生活されていた。難しいとは思いますが、いつか自分もそうなれたらいいなと思った。

失敗はチャンスになる。まさに失敗は成功のもとなので、失敗を恐れずにチャレンジしていきたいと思った。

丹波は木ばかりで、あまり好きではなかった。しかし今回の話を聞いて、丹波市には近くに駅もスーパーもある素晴らしいところだと気づいた。丹波市を出て、外から見ることで初めて気づくことがあることを知った。

トークライブでは仕事について、いろいろと参考になる話を聞けました。普段聞けないことだったので、また聞きたいです。